

第1回佐賀市特別職給料等審議会 議事録

開催日時：令和7年12月2日 13時30分から14時21分まで

開催場所：佐賀市役所本庁南棟2階 庁議室

会議の公開又は非公開の別：公開

出席者：【委員】山田委員（会長）、飯盛委員、北村委員、草場委員、古賀委員、福母委員

【事務局】池田副市長、武富総務部長、池田総務部副部長、立部人事課長ほか

傍聴者数：2名

概要：

1. 開会
2. 会長互選
3. 会長職務代理者の指名
4. 諮問

《諮問》

事務局：それでは続きまして諮問を申し上げたいと思います。会長の方に池田副市長の方からお渡しをいたしたいと思います。

副市長：本市における市議会議員の議員報酬並びに市長及び副市長の給料の適正な額について、佐賀市特別職給料等審議会条例第2条第1項の規定に基づき、貴審議会の意見を伺います。

令和7年12月2日 佐賀市長 坂井英隆 佐賀市特別職給料等審議会会長様

5. 資料説明

6. 質疑及び審議

《質疑》

委員：議員の兼業前提からそうでないように変わってきているというのは実態としてはどうなのですか。

兼業は前は農家の方もいらっしゃったような気もするが、そこら辺はわかりますか。

事務局：

議員さんの年齢も大分以前とは若返りをしてるかなという印象を持っております。

なので以前のような名誉職的な部分というよりも、常に議員として市民の意見を聞くなど、積極的に議員活動を中心にされている印象はあります。

議員の活動につきましては、第2回の審議会で詳しくどういった活動をどのぐらいしてるのかお示しができればと思っております。

委員：ここで言われてる消費者物価ってというのは、総合のことですか。

事務局：おっしゃるとおり総合の数値を用いて示しております。

委員：6 ページ目のグラフで、指定職の改定率が平成 26 年は下がっているが、その時に佐賀市が下げているのは、これは中央の話であるから一般的に地方の市町村は、こういうふうには下げなかったのか。その時、なぜ同じ動きをしなかったのか。

事務局：当時は本市の財政状況を鑑み、市長・副市長の給料については、自主的に減額措置をとっておりました。なので、その間は指定職の改定率は下がってはいるが、実際市長・副市長に支払われていた給料というのは減額措置後の給与だったため、審議会の開催はしていません。

委員：（資料 6 ページのグラフの）オレンジの線っていうのは、率ですか。これが下がったということですか。

事務局：平成 26 年に改定率が下がっております。

委員：そうするとこのオレンジの線は右側の数値で見るとということですか。

事務局：はい。

委員：これをみると、市長・副市長の給与水準は、棒グラフで見ると下がってないように見えるんですが、実際は減額したということですか。

事務局：そうです。給料等審議会では審議会を開催して減額はしていませんが、自主的に市長・副市長が佐賀市の財政状況を考えて給料を減額していたという状況でございます。

委員：じゃあこの棒グラフは実際は減額したものが反映されてないということですか。

事務局：はい、そうです。

委員：ずっと減額したままなのかそれとも、減額は今取りやめているのか。

事務局：前市長のときに減額しておりまして、現市長に変わりましたからは、今の給料額になっております。

委員：9 ページの棒グラフで令和 8 年は社会資本経費のところの前年度の 2 倍近くに増えてる。

令和 8 年から令和 10 年に清掃工場・図書館等の改修予定ということで、これを反映した結果 2 倍近くに増えてるという理解でよろしいですか。

事務局：はい。

委員：同じページ（9 ページ）の表の下から 2 段目の人件費の令和 8 年、9 年、10 年、11 年 12 年のこの上昇率は何を基準に計画を立てられてるのかお聞きしたい。

事務局：近年の佐賀市の一般職の給与につきましては、佐賀県の人事委員会の給与水準に準拠した形で改定を行ってきております。ここ 3 年ぐらいは大分引き上げ改定が行われてきたことを見据えて、この先もこの近年の平均にした改定率で伸ばしている形になります。

委員：そうすると、過去 2・3 年の平均は何%で人件費を上げていっているのですか。

次回でもいいので教えていただければと思うので、よろしくお願いします。

委員：11 ページで 3 つの指数があって、財政力指数、実質公債費比率っていうのは、全市町村に比べて佐賀市は良いのに、経常収支比率が悪いというのは、要するにいろいろ社会的な資本投資をその分抑えているので、経常収支比率は悪いけれども、財政力指数や実質公債費比率は他の市に比べて良いという理解でいいですか。

要するに経常収支比率が高いというのは、人件費とか扶助費とか、公債費、これが収入に占める比率がかなり高いが、ただ他の比率が良いということはそれ以外の支出を佐賀市として努力して抑えていると、そう

いうふうに理解すればよろしいんですか。

事務局：おっしゃるとおりでございます。

実質公債費比率は、要は借金をどのくらいしているかということで、将来どれだけ返さなきゃいけないかということになりますので、いわゆる箱物とかをなかなか作っていないと低くなって参ります。

あと、経常収支比率というのは先ほどおっしゃいましたように、臨時的な経費があれば下がってくるんですけども、あくまでも通常の方での事業をやってる際には高くなるということですので、臨時的な経費をあまり使っていない、いわゆる借金をあまりしないということでこういう数字になります。

委員：そうすると来年度以降、図書館とかいろんなことで社会資本の支出が増えると公債比率なんかにも影響が及んでくる可能性はあるけれど、全体の予算編成の中でそこは押さえていくという、なかなかちょっと難しいオペレーションになってくるという理解でよろしいんですか。

事務局：はい、おっしゃられたとおりでございます。

どうしても建物を建てる時には公債費ということで借金を行って参ります。そういったものが、近年ここから3か年はちょっと続きますので、そういった部分では実質公債費比率の方に影響をして参りますけれども、そこでもなるべく借金をせずにやっていこうということでのオペレーションが必要になって参りますので、なかなかここから3年間の予算編成はきついものがあるかなと思っております。

《次回までに必要な資料について》

・議員の活動について

・資料9ページの歳入・歳出予算推移のグラフについて、令和8年度以降の人件費の増加の計算根拠

7. 次回審議会開催日時の決定

委員の同意を得て以下の日程で決定

第2回…令和8年1月 8日（木） 9時30分から

第3回…令和8年1月23日（金）13時00分から

8. 閉会